

授業科目	公衆栄養学Ⅱ (Aクラス)				単位	2		
履 修	選択	関連資格	管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT21902J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP5-1			
担当教員	坂田 郁子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>公衆栄養学Ⅰ・Ⅱを通して、集団や地域の健康・栄養改善のために、保健・医療・福祉・介護分野のあらゆる対象集団の特性に応じて、適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成、実施、評価・フィードバックを総合的にマネジメントできる理論と方法を修得する。公衆栄養学Ⅱでは、実践活動に結び付けるため、各種サービス、プログラムの調整、人的資源などの社会的資源の活用、栄養情報やコミュニケーションの管理の仕組み等について解説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆栄養マネジメントの概念とプロセスを理解し、説明することができる。 2. 公衆栄養アセスメントの目的と方法を理解し、公衆栄養プログラム作成方法を説明できる。 3. 計画の適切な評価方法を提案することができる。(経過評価、影響評価、結果評価) 4. 集団の特性や諸問題を把握し、地域の状況とニーズに沿った公衆栄養プログラムを策定できる。 5. 地域における連携やネットワークづくりの意義と方法について説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	20	20	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20	0	5	5			30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	25	0	10	10			45	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	15		5	5			25	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1) 地域集団の特性を分析・課題抽出の手法について説明ができ、事例を用いた地域診断をすることができる。 2) 我が国の公衆栄養プログラムについて、社会資源の活用を取り入れた事例紹介を行うことができ、評価方法について説明することができる。				1) 地域集団の特性を把握する手法を理解し、説明することができる。 2) 我が国の公衆栄養プログラムについて、PDCA サイクルに基づき説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	テーマ:公衆栄養活動 栄養政策と関係法規を含め公衆栄養活動について復習する。	講義	復習:公衆栄養活動について整理する。	60
2	テーマ:公衆栄養マネジメント 地域診断と公衆栄養マネジメントの考え方および方法について解説する。	講義	予習:教科書の該当部分を読む 復習:プリシード・プロシードモデルを理解する。	60
3	テーマ:公衆栄養アセスメント 公衆栄養アセスメントの目的と方法および質問調査の方法について解説する。	講義	復習:アセスメントの方法を整理する。	60
4	テーマ:公衆栄養プログラムの目標設定・計画 アセスメント結果から、短期・中期・長期目標を設定し、プログラムを計画する方法について解説する。	講義	予習:教科書の該当部分を読む 復習:課題を改善するための計画を考える。	60
5	テーマ:公衆栄養プログラムの実施 効果的にプログラムを実施するために必要な社会資源や関係機関との連携について解説する。	講義 演習	復習:公衆栄養アセスメントに必要な情報をまとめる。	60
6	テーマ:公衆栄養プログラムの評価 評価の種類・デザイン、評価方法について解説する。	講義 演習 レポート	復習:公衆栄養プログラムを作成する。	60
7	テーマ:地域特性に対応したプログラムの展開 地域の状況とニーズに沿った公衆栄養プログラムについて解説する。	講義	予習:教科書の該当部分を読む 復習:地域特性に対応したプログラムをまとめる。	60
8	テーマ:特性別プログラムの展開1 母子・学童・思春期の公衆栄養プログラムの実施について解説する。	講義	予習:教科書の該当部分を読む 復習:特性別プログラムの工夫をまとめる。	60
9	テーマ:特性別プログラムの展開2 成人・高齢者・障がい者・生活習慣病ハイリスク者の公衆栄養プログラムの実施について解説する。	講義	予習:教科書の該当部分を読む 復習:特性別プログラムの工夫をまとめる。	60
10	テーマ:食環境整備と公衆栄養活動1 食環境整備のための公衆栄養プログラムの展開について解説する。	講義 レポート	復習:自分が住んでいる自治体の食環境整備事業を調べまとめる。	60
11	テーマ:食環境整備と公衆栄養活動2 地域高齢者等配食事業の栄養管理に関するガイドラインを説明し、地域包括ケアシステムにおける食環境整備について解説する。	講義	復習:高齢者の配食サービスについてまとめる。	60
12	テーマ:公衆栄養活動における危機管理 災害時における公衆栄養活動について解説する。	講義	復習:災害時における管理栄養士の活動についてまとめる。	60
13	テーマ:公衆栄養活動事例検討 グループに分かれ対象にあった公衆栄養活動を検討する。	演習	復習:公衆栄養活動の事例を検討する。	60
14	テーマ:公衆栄養活動事例検討 グループに分かれ対象にあった公衆栄養活動を検討する。	演習	予習:グループ発表の準備をする。	60
15	テーマ:公衆栄養活動事例発表 グループで話し合った公衆栄養活動を発表する。	発表 講義 レポート	復習:公衆栄養プログラムの作成についてまとめる。	60
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	公衆栄養活動は、公衆栄養学Ⅰで学んだ、健康増進法、地域保健法などの関連法規がベースとなっているので、2年の公衆栄養学Ⅰの復習を行っておくこと。 また、対象集団の地域特性を把握するためには、食物→栄養素→疾病の関連性を理解しておく必要がある。これまで学習した食品学関連科目、基礎栄養学、臨床関連科目等の復習を行っておくこと。			
テキスト	「ウエルネス公衆栄養学(2022年版)」加島浩子、森脇弘子編(医歯薬出版) 「管理栄養士・栄養士必携」公益社団法人日本栄養士会編(第一出版) ※テキストは、授業外学習(予習・復習)にも活用する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「日本人の食事摂取基準2020年版」(第一出版) 「管理栄養士・栄養士必携」(公益社団法人日本栄養士会編、第一出版) 「国民衛生の動向」			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	公衆栄養学Ⅱは管理栄養士になるための基礎的な科目です。これまで学んできた公衆衛生学、公衆栄養学Ⅰを基礎にした実践的な内容です。日頃より、ニュース、新聞、地方自治体等のホームページ、広報誌などで居住地域の公衆栄養関係の行事等を調べ、地域における公衆栄養の実践活動に対する関心を養ってください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	復習及び課題・演習内容は授業中に指示する。 レポートはまとめて返却する。			

